

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (三輪バイク 3 wheel)

- (1) ミニの三輪バイクでゼンマイ仕掛けのおもちゃである。(図-1)
- (2) 床面にタイヤを押し付けながら後退させてゼンマイを巻くわけであるが、診察結果は、車軸に固定されているギアが割れているため、ゼンマイが巻かれていない。(図-2)
- (3) 割れ目の赤黄色の付着物はなんのでしょうか？ ボンドだろうか？ (図-3)
- (4) 他には異状は見当たらない。



図-1 ミニの三輪バイク



図-2 分解図

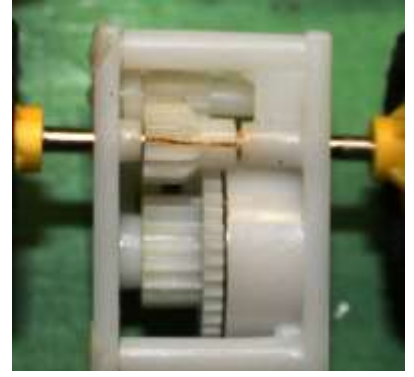


図-3 割れているギア

2 治療の方法

- (1) 特別なギアであり、おもちゃ病院には適合するギアは無い。
注文しても有るか無いかわからない。形・ギアの山の数・外径・軸の通る穴の径等の問題がある。
- (2) 今回は、この割れたギアを工夫して治療しようと決めた。
 - まず、割れたギアを取り出すために図-4の固定板を外さなければならない。
固定板は、三ヶ所止ピンを熱で溶かして止めたものだと思う。ネジ止めならば簡単だか・・・
 - ミニグラインダーで、三ヶ所の止ピンは残すように少しずつ削って外した。



図-4 ギア固定板



図-5 ギア部と車軸と割れたギア



図-6 ゼンマイの飛出し防止

- 図-3の割れ目の赤黄色の付着物を先鋭な工具で取り除いた。そして、車軸と割れたギアが固定される位置にマジックで印をつけてボンドでの固定する準備をした。
- ボンドは、アロンアルファ プロ用 耐衝撃 ハイスピードを使用した。
- 図-7のように、ギアの形が、ラジオペンチで挟めるようになっていたため上手く固定できた。
- ギアの割れ目・車軸・ギアの両端にボンドを塗布して5分以上ラジオペンチを握り絞めた。

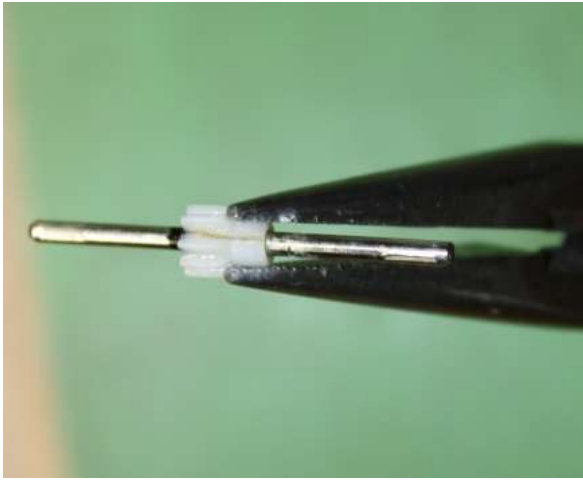


図-7 ラジオペンチでしばらくの間挟む



図-8 印の位置で固定完了のギアと車軸

3 治療後の結果

- (1) 図-9は、試運転完了後の三輪バイク(3 wheel)です。



- (2) 試運転では良好の走りでした。スピードある。距離も長い。まるで生き返ったみたいである。

3 ドクターからのアドバイス

- ギアが割れたのは、老朽化のためか、常に100%ゼンマイを巻き続けたためかは不明だ。
- ◎ ギアに負担が掛り過ぎないように、80%くらい巻いてから離してやれば、ギアが喜ぶとドクターは思います。

お渡し予定日：平成29年04月9日
担当ドクター：谷 春 雄